「地域力の強化に向けた全国市町村長サミット 2024in 千葉」 知事挨拶

皆さんこんにちは。千葉県知事の熊谷です。

全国からようこそ千葉県にお越しをいただきました。630万県民を代表して、心から歓迎を申し上げます。この全国市町村長サミットが千葉県で開催されるのは初となります。我々にとっても大変嬉しく思っております。

開催にあたりましては、開催都市である千葉市の神谷市長をはじめ、千葉市の皆様方にも大変なご尽力をいただきました。この場をお借りして感謝申し上げたいと思います。そして先ほどご挨拶された望月総務省大臣官房地域力創造審議官にもお越しをいただきました。改めて総務省をはじめとする、開催にあたって、尽力された全ての方々に、心から感謝を申し上げます。

私も市長を12年近くさせていただきましたので、日本の行政にとって一番重要なのは何と言っても市町村、基礎自治体だと思っています。この市町村、基礎自治体もしっかりしているからこそ、県行政も、そして国の行政も成り立つ、そう考えています。私も知事に就任してから、54市町村全てを訪問させていただいて、現地の課題を聞かせていただいた上で、一緒に解決しようとして取り組んでいるところです。

よく県の職員には、市町村の皆さん方は我々県に非常に丁寧に接していただけるけれども、それは県が持っている権限と予算、これに対して丁寧に対応していただいているわけであって、裏側では悪口を言われているぐらいの自覚を持って、市町村の皆さん方の中に飛び込んで、市町村のためにどうやって我々県が存在意義を発揮できるかということのを常に考えるようにしてくださいと申し上げています。

我々千葉県の場合、災害の時に県と市町村をしっかり連携できるように、例えば、台風の到来を含めて災害が起きた、もしくは起きるかもしれない市町村には、前もって、県の職員を連絡調整員という形で派遣させていただいて、県に求めることがダイレクトに届くようにしております。私自身も場合によっては、市町村長の方に電話をかけさせていただいて、何が必要か、何を県としてやらなければいけないかということのを直接伺うようにしております。昨年も茂原を含め千葉県の地域で集中豪雨があったんですけれども、その際も、私も現地に行かせていただいて県庁の職員、さらには被害を受けていない他の市町村にもお願いをして、被災地に、罹災証明発行のための住家被害認定であったり、もしくは災害廃棄物の処理などをお手伝いするための人員を何百人という形で、こちらからプッシュで派遣させていただきました。これからも、県と市町村のあるべき関係性を市長出身の知事として、この千葉県から、事例を一緒に作っていきたいと考えています。

この後、流山市の井崎市長と旭市の米本市長が登壇されると聞いております。千葉県の市町村長は非常に優秀でモチベーションの高い人が多いので、たくさん参考になる事例が紹介されるのではないかと思います。

さて、せっかく千葉県にお越しいただきましたので、少しだけ千葉県の紹介をして終わりたいと思いますが、私ども千葉県というのは、昨年千葉県誕生150周年をむか

えましたけれども、上総、下総、安房という3つの旧国で構成をされている、千葉と一言で言っても、かなり多様な姿がある県になります。

我々は、まず東京の隣にありながら農業生産額第4位の大農業県になります。農業、水産業、商業、工業、これらがいずれもトップ10に入る都道府県は全国で千葉のみとなっております。そういう意味では、全国のあらゆる縮図と可能性と魅力が、この千葉県には詰まっていると思っていますので、少しでも千葉県から全国の参考になるような事例を作っていければなと思っています。

それから、私はよくこういう場で千葉県には日本を代表するA B C Dがありますということを申し上げるようにしています。

まずAがエアポート (Airport) です。私どもには日本の空の玄関口、成田空港がございます。最近、成田空港は羽田空港に押されているんじゃないの、と思われる節もあるかもしれませんが、今、成田空港では、2029年に目がけて、第3滑走路の新設含め空港敷地面積が2倍となる、国家的な大拡張事業が行われています。第2の開港とも言える日本にとって、首都圏にとって極めて重要なタイミングを今、迎えております。羽田空港はもう物理的にも管制上拡張余地があまりありませんので、これからの首都圏の空のニーズを受け止めるのは、成田空港になってまいります。そして成田空港の特徴は旅客ではなく、むしろ物流になります。日本の航空貨物の60%ほどが成田に集中しています。東京港であったり、もしくはトヨタの車を輸出する名古屋港を超えて、日本最大の貿易港は成田空港になります。私たちはアジアを代表する国際物流拠点を有しておりますが、残念ながら、例えばシンガポールのチャンギ (国際空港) であったり、韓国の仁川 (国際空港) を含めたそうした空港周辺と比べて、私たちの成田空港周辺というのは、国家的な土地開発プロジェクトが行われてこなかった地域です。我々はこれを伸びしろと考え、政府との協議をしてきた結果、成田空港周辺、農地を含む土地であったとしても弾力的に開発できるという、農水省の初めての通達を出していただいて、今、国家的な大型プロジェクトが相次いで発表されている状況です。これは我々千葉のためではなく、このサプライチェーンの中における経済安全保障の観点からも、成田周辺に、政府と連携をしながら国際的な産業拠点、物流拠点を作っていく、これが成田で動いているということをご承知おきいただければと思います。

Bはブリッジ (Bridge)、東京湾アクアラインです。アクアブリッジは日本で一番長い橋になりますけれども、今、土日の夕方を中心に非常に渋滞で有名な場所になっています。今、私たちは国と連携してここにロードプライシング、料金変動制を本格的に導入しようとしております。800円だったものを時間帯によって値下げをし、値上げをして道路の需要を散らす取組をして、一定程度、渋滞による損失時間の減少に繋がっていることが確認されております。日本はすべてにおいて、ダイナミックプライシングが比較的少ない国でしたけれども、今はテーマパークであったり、様々な場所でダイナミックプライシングが入りつつあります。私たちの、日本の国民の社会資本を最も効率的に使うために、動的に料金を変動していくことは生産性を高めるために不可欠だと考えています。そうした良い事例が私たちのアクアラインから出せるよう

に、これからもしっかりと、丁寧に地元と協議をしながら料金変動を進めていきたいと思っています。

Cがコンベンション(Convention)ですね。皆さんがいらっしゃるこの幕張メッセ、これがコンベンションになります。日本で最初にできた本格的なコンベンションホールが幕張メッセになります。私たちは成田空港と東京の間に、世界の人、物、情報、様々なビジョンが集まる国際交流拠点を作ろうとの考え方の元で、この海の中にあつた場所、そして埋め立てした後、葦が生えていたこの場所に幕張メッセを始めとする幕張新都心を形成いたしました。その位置づけは今も変わっておりません。こうした市町村長の皆様を含めて、様々な課題意識を抱えている方がここに集まって、そして直接意見交換をすることで、新たなものが生み出される、そうした場所をこれからもこの幕張新都心、千葉市と千葉県が連携をしながら作っていききたいと考えています。

最後にD、Dは何だと思えますか。これはディズニー(Disney)ですね。東京ディズニーリゾートが私どもの千葉県にあります。今まではディズニーリゾートが「ある」、だけでしたが、昨年からは、私はこのディズニーリゾートがあることを最大限に生かすべきだということで、オリエンタルランドと包括協定を千葉県として締結いたしました。そうした中で、例えば、千葉市や館山市でディズニーのパレードをしたり、もしくは、このディズニーリゾートの様々な裏側の仕事を千葉県の子供たちが体験できるようにであったり、ディズニーリゾートのダンサーの皆さん方が千葉県の学校を訪れてダンスを教えていただいたりという形で、ディズニーリゾートに、リゾートの外に出てきていただく。そうした取組を今、1つ1つ重ねているところです。日本を代表するテーマパークだけではなくて、技術であったり、文化であったり、芸術であったり、あらゆるものの最先端がそこにあります。それをいかに私たちの町に、地域に生かしていくのかという考え方で、我々はさらに連携を深めようと考えております。

私たちはこういう形で千葉県が持っている特徴的なものをいかに活用して、最大化して、県内の各地域のまちおこしだったり、人づくりをしようという挑戦をしております。今日は、こうやって皆様方がお集まりになり、様々な先端的な取組が交換されると思っています。それらを我々もしっかりと聞かせていただいて、千葉県の中で生かしていきたいと思っています。

市町村長サミットがそれぞれの地域のさらなる発展と課題克服に向けて有意義な集まりとなることを心より祈念申し上げまして、開催県を代表しての挨拶に代えさせていただきます。

今日はようこそお越しいただきました、ありがとうございます。